

施策事業評価シート

担当課(担当部署名)	高齢者福祉課
------------	--------

基本目標	地域包括ケアシステムの深化・推進
基本目標(中項目)	
施策項目	施策の方向1-1 介護予防の充実
施策・事業名	④介護支援ボランティア
施策の対象者	
現行計画(第8期)掲載の 施策概要または事業の概要	高齢者の介護予防のため、市内に居住する65歳以上の方を対象とし、介護保険施設等でのボランティア活動に対してポイントを付与し、そのポイント数に応じて交付金を交付する制度です。
現行計画(第8期)掲載の 評価と取組状況	登録者数・受入施設数ともに増加傾向にありますが、地域包括ケアシステムの構築に向けて、さらなる事業の周知・啓発が必要となっています。

現行計画(第8期)の取組結果の振り返り(令和3~5年度)

指標名(単位)	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
ボランティア登録者数(人)	見込み	110	100	100	100
	実績値	85	37	43	50
	乖離率	-29.4%	-170.3%	-132.6%	-100.0%
	実績値				
	乖離率				
	実績値				
	乖離率				

目標(推計)と実績の差が 大きかった理由として 考えられること	コロナ禍で施設でのボランティアの受け入れを停止したこと、ボランティアが65歳以上により、外出を自粛したため。
---------------------------------------	--

次期計画(第9期)の取組または方向性について

施策または事業の課題	施設でのボランティアの受け入れを停止しているため、地域貢献を奨励、支援できるボランティア活動が見つからない。
今後の方向性	コロナが収束するまでは施設側がボランティア受け入れ停止の継続が考えられるため、その他のポイントを付与できるボランティア活動を考える必要がある。

次期計画(第9期)計画値・推計値を記(令和27年は、中長期計画最終年度)

指標名(単位)	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和27年
ボランティア登録者数(人)	見込み	55	56	57	100
施策・事業の方向性→		⑤	⑤	⑤	

		規模(量)		
		拡大	維持	縮小
費用	拡大	①	②	③
	維持	④	⑤	⑥
	縮小	⑦	⑧	⑨

施策の総合評価 (評価点「A:計画どおりに事業を進めることが適当、B:事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、C:事業規模・内容の見直しの検討、D:事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」)	B
--	----------

担当課(担当部署名)	高齢者福祉課・社会福祉課
------------	--------------

基本目標	地域包括ケアシステムの深化・推進
基本目標(中項目)	
施策項目	施策の方向1-3 認知症施策の推進
施策・事業名	⑧成年後見制度の利用促進
施策の対象者	全市民
現行計画(第8期)掲載の 施策概要または事業の概要	ひとり暮らし高齢者や認知症の人の増加が見込まれる中で、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けるために、権利擁護を必要とする人を制度に結び付けるとともに、地域で被後見人等を支える市民後見人の養成に取り組み、支える側も支えられる側も、安心して生活できる体制を整えます。
現行計画(第8期)掲載の 評価と取組状況	成年後見制度の利用促進を図るため、令和5年度に印西市社会福祉協議会に成年後見支援センターを設置し、相談体制の整備や制度の周知等を行っております。今後は、センターと市の連携体制を強化することに加え、各種相談機関ともネットワークの強化を図ることが必要です。

現行計画(第8期)の取組結果の振り返り(令和3~5年度)

指標名(単位)	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
センター相談者数(人)	目標値				30
	実績値				
	乖離率				
	実績値				
	乖離率				
	実績値				
	乖離率				
目標(推計)と実績の差が 大きかった理由として 考えられること					

次期計画(第9期)の取組または方向性について

施策または事業の課題	権利擁護支援に携わる地域の支援者が少ないため、地域における権利擁護支援の受け皿がセンターしかない状態にある。成年後見制度を含む権利擁護支援の支援者を増やしていくことが課題と考えている。また、制度の利用が必要な方を発見した際に、センターに適切に繋がれるように、関係機関との連携を強化していく必要があると考えている。
今後の方向性	成年後見制度の利用促進が適切に図られるように、市及びセンターの相談機能強化や制度の周知を継続的に行っていきます。また、(数年に1度)地域で被後見人等を支える市民後見人の養成を行い、地域で権利擁護支援に携わる支援者を増やしていきます。

次期計画(第9期)計画値・推計値を記(令和27年は、中長期計画最終年度)

指標名(単位)	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和27年
センター相談者数(人)	目標値				

施策・事業の方向性→

		規模(量)		
		拡大	維持	縮小
費用	拡大	①	②	③
	維持	④	⑤	⑥
	縮小	⑦	⑧	⑨

<p>施策の総合評価 (評価点「A:計画どおりに事業を進めることが適当、B:事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、C:事業規模・内容の見直しの検討、D:事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」)</p>	A
--	----------

担当課(担当部署名)	高齢者福祉課
------------	--------

基本目標	地域包括ケアシステムの深化・推進
------	------------------

基本目標(中項目)	
-----------	--

施策項目	施策の方向1-5 高齢者にふさわしい住まい・環境の充実
------	-----------------------------

施策・事業名	②バリアフリー化の推進
--------	-------------

施策の対象者	
--------	--

現行計画(第8期)掲載の 施策概要または事業の概要	高齢者が安心して日常生活を送れるよう、住宅等のバリアフリー化の推進を図ります。
------------------------------	---

現行計画(第8期)掲載の 評価と取組状況	エレベーターがない高層住宅やバリアフリー化されていない住宅に住んでいる人の高齢化が見込まれる中、外出が困難となり、住み慣れた住宅に住むことができなくなることが課題となります。 マンション建設や宅地分譲においては、印西市開発事業指導要綱に基づく事前協議により住宅の通路や階段等のバリアフリー化に関して、高齢者に配慮した計画を事業者へ要望しています。
-------------------------	--

現行計画(第8期)の取組結果の振り返り(令和3~5年度)

指標名(単位)	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
係各課と連携 照会に対する協 議の実施(回)	目標値	実施	実施	実施	実施
	実績値	実施	実施	実施	実施
	乖離率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!
	実績値				
	乖離率				
	実績値				
	乖離率				

目標(推計)と実績の差が 大きかった理由として 考えられること	
---------------------------------------	--

次期計画(第9期)の取組または方向性について

施策または事業の課題	高層住宅や戸建住宅に住む人が高齢化した際、外出が困難との理由で住み慣れた住宅での生活ができなくなることが無いよう、開発事業者にはバリアフリー化を要望しておりますが、事業者の裁量によるところが大きいので、事業者により差が生じてしまうことが課題です。
------------	---

今後の方向性	高齢者が安心して生活できる環境づくり推進のため、マンションや宅地の開発事業者に住宅等のバリアフリー化を引き続き要望をしております。
--------	---

次期計画(第9期)計画値・推計値を記(令和27年は、中長期計画最終年度)

指標名(単位)	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和27年
係各課と連携照会に対する協議の実施	目標値	実施	実施	実施	実施

施策・事業の方向性→

⑤

⑤

⑤

		規模(量)		
		拡大	維持	縮小
費用	拡大	①	②	③
	維持	④	⑤	⑥
	縮小	⑦	⑧	⑨

<p>施策の総合評価</p> <p>(評価点「A:計画どおりに事業を進めることが適当、B:事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、C:事業規模・内容の見直しの検討、D:事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」)</p>	A
---	---

担当課(担当部署名)	健康増進課
------------	-------

基本目標	高齢者が健康で生きがいを持って活躍する社会の実現
基本目標(中項目)	
施策項目	施策の方向2-1 健康づくりの推進
施策・事業名	①健康教育、健康づくりの普及・啓発
施策の対象者	
現行計画(第8期)掲載の 施策概要または事業の概要	健康講演会や出前健康講座、各種集団教室等の様々な機会を活用して健康教育を実施します。 一般的な健康についての教育や、病態別、運動、食事等、健康課題に合わせた教育を実施します。
現行計画(第8期)掲載の 評価と取組状況	すべてのライフステージに対する健康づくりや無関心層へのアプローチのあり方が課題です。

現行計画(第8期)の取組結果の振り返り(令和3~5年度)

指標名(単位)	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	実績値				
	乖離率				
	実績値				
	乖離率				
	実績値				
	乖離率				

目標(推計)と実績の差が 大きかった理由として 考えられること	
---------------------------------------	--

次期計画(第9期)の取組または方向性について

施策または事業の課題	すべてのライフステージに対する健康づくりや無関心層へのアプローチのありかたが課題です。
今後の方向性	市民が自分や家族の健康に関心を持ち、日常生活の中で身体活動量が増えるなど、自然に健康づくりに取り組める仕組みづくりを目指します。

次期計画(第9期)計画値・推計値を記(令和27年は、中長期計画最終年度)

指標名(単位)	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和27年

施策・事業の方向性→

		規模(量)		
		拡大	維持	縮小
費用	拡大	①	②	③
	維持	④	⑤	⑥
	縮小	⑦	⑧	⑨

施策の総合評価 (評価点「A:計画どおりに事業を進めることが適当、B:事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、C:事業規模・内容の見直しの検討、D:事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」)	A
--	---

担当課(担当部署名)	健康増進課
------------	-------

基本目標	高齢者が健康で生きがいを持って活躍する社会の実現
基本目標(中項目)	
施策項目	施策の方向2-1 健康づくりの推進
施策・事業名	②健康相談・訪問指導
施策の対象者	
現行計画(第8期)掲載の 施策概要または事業の概要	健診の結果等について、栄養や歯科も含めた健康全般に関する相談を実施しています。市民のニーズに合わせ、面接、訪問、電話等で健康相談を実施しています。
現行計画(第8期)掲載の 評価と取組状況	健康相談の健康相談数は増加傾向にあります。個別医療機関でも健康相談のちらしを配布し、タイミングよく健康相談の機会を設けるなど市民のニーズに合った事業展開が出来ていると考えられます。

現行計画(第8期)の取組結果の振り返り(令和3~5年度)

指標名(単位)	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	実績値				
	乖離率				
	実績値				
	乖離率				
	実績値				
	乖離率				

目標(推計)と実績の差が 大きかった理由として 考えられること	
---------------------------------------	--

次期計画(第9期)の取組または方向性について

施策または事業の課題	健康相談の健康相談数は増加傾向にあります。個別医療機関でも健康相談のちらしを配布し、タイミングよく健康相談の機会を設けるなど市民のニーズに合った事業展開が出来ていると考えられます。
今後の方向性	今後も工夫しながら、本人及び家族の健康の保持増進につながる行動の動機づけになるように助言を行い、市民のニーズに合わせて展開していきます。

次期計画(第9期)計画値・推計値を記(令和27年は、中長期計画最終年度)

指標名(単位)	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和27年

施策・事業の方向性→

		規模(量)		
		拡大	維持	縮小
費用	拡大	①	②	③
	維持	④	⑤	⑥
	縮小	⑦	⑧	⑨

施策の総合評価 (評価点「A:計画どおりに事業を進めることが適当、B:事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、C:事業規模・内容の見直しの検討、D:事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」)	A
--	---

担当課(担当部署名)	健康増進課
------------	-------

基本目標	高齢者が健康で生きがいを持って活躍する社会の実現
------	--------------------------

基本目標(中項目)	
-----------	--

施策項目	施策の方向2-1 健康づくりの推進
------	-------------------

施策・事業名	③高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施
--------	----------------------

施策の対象者	
--------	--

現行計画(第8期)掲載の 施策概要または事業の概要	高齢者一人ひとりに対し、フレイル等の心身の多様な課題に対応したきめ細やかな保健事業を行うため、運動、口腔、栄養、社会参加等の観点から保健事業と介護予防の一体的な実施を推進するものです。
------------------------------	--

現行計画(第8期)掲載の 評価と取組状況	実施に向けて令和2(2020)年に法的整備が行われました。後期高齢者の健診において、高齢者のフレイルを把握するための新たな「後期高齢者の質問票」を活用しています。具体的な取り組み方法については検討中です。
-------------------------	--

現行計画(第8期)の取組結果の振り返り(令和3~5年度)

指標名(単位)	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
健康診断時における実施回数(回)	見込み	1	1	1	1
	実績値				
	乖離率				
	実績値				
	乖離率				
	実績値				
	実績値				
	乖離率				

目標(推計)と実績の差が 大きかった理由として 考えられること	
---------------------------------------	--

次期計画(第9期)の取組または方向性について

施策または事業の課題	高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、ポピュレーションアプローチとして、いんざい健康ちよきん運動や依頼教育等にて、フレイル予防や健康増進に関する正しい知識の普及及び意識付けを図ったり、必要に応じて健康相談及び受診勧奨、相談窓口の紹介等を行っています。5圏域で実施件数にばらつきがあります。ハイリスクアプローチでは、フレイルリスクや生活習慣病等の重症化リスクを有する高齢者に対し、希望者に対し保健指導を行っていますが、希望なしの人には支援ができていない状況です。
------------	---

今後の方向性	ポピュレーションアプローチでは、5圏域全体で、さまざまな通いの場を活用してフレイル予防や健康増進に関する知識の普及等を実施していきます。ハイリスクアプローチでは、事業参加希望者だけでなく、該当者全てに対して個別支援を行っていきます。
--------	--

次期計画(第9期)計画値・推計値を記(令和27年は、中長期計画最終年度)

指標名(単位)	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和27年
健康診断時における実施回数(回)	見込み				

施策・事業の方向性→ <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td align="center" colspan="3">規模(量)</td> </tr> <tr> <td></td> <td align="center">拡大</td> <td align="center">維持</td> <td align="center">縮小</td> </tr> <tr> <td align="center" rowspan="3">費用</td> <td align="center">拡大</td> <td align="center">①</td> <td align="center">②</td> <td align="center">③</td> </tr> <tr> <td align="center">維持</td> <td align="center">④</td> <td align="center">⑤</td> <td align="center">⑥</td> </tr> <tr> <td align="center">縮小</td> <td align="center">⑦</td> <td align="center">⑧</td> <td align="center">⑨</td> </tr> </table>						規模(量)				拡大	維持	縮小	費用	拡大	①	②	③	維持	④	⑤	⑥	縮小	⑦	⑧	⑨
	規模(量)																								
	拡大	維持	縮小																						
費用	拡大	①	②	③																					
	維持	④	⑤	⑥																					
	縮小	⑦	⑧	⑨																					

施策の総合評価 (評価点「A:計画どおりに事業を進めることが適当、B:事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、C:事業規模・内容の見直しの検討、D:事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」)	A
--	----------

担当課(担当部署名)	健康増進課
------------	-------

基本目標	高齢者が健康で生きがいを持って活躍する社会の実現
基本目標(中項目)	
施策項目	施策の方向2-1 健康づくりの推進
施策・事業名	④糖尿病性腎症重症化予防事業
施策の対象者	
現行計画(第8期)掲載の 施策概要または事業の概要	国・県が示す糖尿病性腎症重症化予防プログラムに倣い、糖尿病性腎症の発症、重症化リスクを有する者に対して、受診、継続受診を奨励し、適切かつ継続的な保健指導を行い、糖尿病性腎症の重症化を予防し、新規透析導入を阻止することで、医療費の適正化を図ります。
現行計画(第8期)掲載の 評価と取組状況	平成30(2018)年度に開始した事業です。対象者のレセプトを確認すると、複数の合併症を抱えた人が多く、保健指導方法が確立している腎症予防を切り口としながらも、心臓疾患、脳疾患、がんなどの予防にもつながり、QOLの維持向上や医療費の適正化への効果が得られると期待できます。医療機関との連携を一層深め、腎機能の回復が見込めるうちに保健指導が行えるよう進めます。

現行計画(第8期)の取組結果の振り返り(令和3~5年度)

指標名(単位)	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
糖尿病保健指導人数(人)	見込み				
	実績値				
	乖離率				
	実績値				
	乖離率				
	実績値				
	乖離率				

目標(推計)と実績の差が 大きかった理由として 考えられること	
---------------------------------------	--

次期計画(第9期)の取組または方向性について

施策または事業の課題	特定健康診査、39歳以下健康診査等受診者のうち、支援該当者に対し、医療機関と連携をしながら、治療中の人に対しても保健指導を実施しています。 75歳以上の後期高齢者では、前年度の健康診査等の結果より支援該当者に対し、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の中で保健指導を実施しています。
今後の方向性	今後も医療機関との良好な連携体制を維持しながら事業を継続していきます。未受診または治療中断者の高リスク状態の人に対して、受診行動につながる勧奨ができるように工夫していきます。

次期計画(第9期)計画値・推計値を記(令和27年は、中長期計画最終年度)

指標名(単位)	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和27年
糖尿病保健指導人数(人)	見込み				

施策・事業の方向性→

		規模(量)		
		拡大	維持	縮小
費用	拡大	①	②	③
	維持	④	⑤	⑥
	縮小	⑦	⑧	⑨

施策の総合評価 (評価点「A:計画どおりに事業を進めることが適当、B:事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、C:事業規模・内容の見直しの検討、D:事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」)	A
--	---

担当課(担当部署名)	健康増進課
------------	-------

基本目標	高齢者が健康で生きがいを持って活躍する社会の実現
基本目標(中項目)	
施策項目	施策の方向2-1 健康づくりの推進
施策・事業名	⑤特定健康診査・後期高齢者健康診査・特定保健指導
施策の対象者	
現行計画(第8期)掲載の 施策概要または事業の概要	高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、メタボリックシンドロームに着目し生活習慣病予防を図るため、40～74歳の国民健康保険加入者を対象に、特定健康診査を実施し、その結果により生活習慣病を招く恐れがある人に対して、特定保健指導を行っています。また、75歳以上の方については後期高齢者健康診査を実施しています。令和2(2020)年度からは後期高齢者健康診査でフレイルの危険性が高い人を見つけるための質問を実施しています。
現行計画(第8期)掲載の 評価と取組状況	令和元(2019)年度値と前回計画の平成28(2016)年度との比較では、特定健康診査受診率37.8%(+1.4ポイント)、後期高齢者健康診査受診率31.1%(+1.6ポイント)、特定保健指導実施率26.7%(+3.6ポイント)となっています。健診の受診率は横ばいですが、この間、人間ドックの利用者数は増加傾向にあります。特定保健指導については、制度変更により、集団健診受診者に、健診の場で保健指導を開始できる仕組みができたことから、保健指導が身近なものに感じられ、実施率が上昇したと考えられます。

現行計画(第8期)の取組結果の振り返り(令和3～5年度)

指標名(単位)	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
後期高齢者対象 フレイル質問票配布数(枚)	見込み				
	実績値				
	乖離率				
	実績値				
	乖離率				
	実績値				
	乖離率				
目標(推計)と実績の差が 大きかった理由として 考えられること					

次期計画(第9期)の取組または方向性について

施策または事業の課題	各種健(検)診では、若年層の受診率が低い傾向にあることから、介護予防の観点から若年層へのアプローチが課題です。
今後の方向性	各種健(検)診について若年層への周知を行います。また、各種健(検)診は生活習慣病やがんの早期発見や生活改善、介護予防等それぞれの目的を持って実施しているものの、後期高齢者健康診査を除くと、高齢者や介護対象者に限らず幅広い年代の方を対象とし、課題も共通傾向にあります。本計画の中に個別の健(検)診ごとに施策建てをすることはそぐわないと考えるため、「各種健(検)診と特定保健指導の実施」のように施策統合を検討しています。

次期計画(第9期)計画値・推計値を記(令和27年は、中長期計画最終年度)

指標名(単位)	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和27年
後期高齢者対象フレイル質問票配布数	見込み				

施策・事業の方向性→

		規模(量)		
		拡大	維持	縮小
費用	拡大	①	②	③
	維持	④	⑤	⑥
	縮小	⑦	⑧	⑨

施策の総合評価 (評価点「A:計画どおりに事業を進めることが適当、B:事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、C:事業規模・内容の見直しの検討、D:事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」)	C
--	---

担当課(担当部署名)	健康増進課
------------	-------

基本目標	高齢者が健康で生きがいを持って活躍する社会の実現
基本目標(中項目)	
施策項目	施策の方向2-1 健康づくりの推進
施策・事業名	⑥がん検診
施策の対象者	
現行計画(第8期)掲載の 施策概要または事業の概要	健康増進法第19条の2に基づき、がん疾患などの予防を図るとともに、がんを早期に発見し、適切な治療に結びつけるよう事業を実施します。国の指針に基づき、胃がん検診、大腸がん検診、肺がん・結核検診、乳がん検診、子宮頸がん検診の5大がん検診を実施しています。また、印西市独自の事業として、前立腺がん検診を実施します。
現行計画(第8期)掲載の 評価と取組状況	健(検)診の受診率は横ばいが続いており、今後も健(検)診を受診する機会がない市民へ周知や啓発を引き続き行いながら、受診を促進していく必要があります。また、精密検査受診の対象となられた方が、速やかに受診行動に移せるよう受診勧奨を行い、精密検査受診率向上を図っていきます。

現行計画(第8期)の取組結果の振り返り(令和3~5年度)

指標名(単位)	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	実績値				
	乖離率				
	実績値				
	乖離率				
	実績値				
	乖離率				

目標(推計)と実績の差が 大きかった理由として 考えられること	
---------------------------------------	--

次期計画(第9期)の取組または方向性について

施策または事業の課題	各種健(検)診では、若年層の受診率が低い傾向にあることから、介護予防の観点から若年層へのアプローチが課題です。
今後の方向性	各種健(検)診について若年層への周知を行います。また、各種健(検)診は生活習慣病やがんの早期発見や生活改善、介護予防等それぞれの目的を持って実施しているものの、後期高齢者健康診査を除くと、高齢者や介護対象者に限らず幅広い年代の方を対象とし、課題も共通傾向にあります。本計画の中に個別の健(検)診ごとに施策建てをすることはそぐわないと考えるため、「各種健(検)診と特定保健指導の実施」のように施策統合を検討しています。

次期計画(第9期)計画値・推計値を記(令和27年は、中長期計画最終年度)

指標名(単位)	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和27年

施策・事業の方向性→

		規模(量)		
		拡大	維持	縮小
費用	拡大	①	②	③
	維持	④	⑤	⑥
	縮小	⑦	⑧	⑨

施策の総合評価 (評価点「A:計画どおりに事業を進めることが適当、B:事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、C:事業規模・内容の見直しの検討、D:事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」)	C
--	---

担当課(担当部署名)	健康増進課
------------	-------

基本目標	高齢者が健康で生きがいを持って活躍する社会の実現
基本目標(中項目)	
施策項目	施策の方向2-1 健康づくりの推進
施策・事業名	⑦骨粗しょう症検診
施策の対象者	
現行計画(第8期)掲載の 施策概要または事業の概要	若い世代から骨密度測定を実施することにより、骨粗しょう症予防への意識づけを行い、高齢期の骨折のリスクを減少させ介護予防に結びつけます。
現行計画(第8期)掲載の 評価と取組状況	若い世代の受診率が低いため、受診勧奨はがきや検診に関する案内ちらし等で引き続き周知を行いながら、受診を勧奨していく必要があります。

現行計画(第8期)の取組結果の振り返り(令和3~5年度)

指標名(単位)	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	実績値				
	乖離率				
	実績値				
	乖離率				
	実績値				
	乖離率				

目標(推計)と実績の差が 大きかった理由として 考えられること	
---------------------------------------	--

次期計画(第9期)の取組または方向性について

施策または事業の課題	各種健(検)診では、若年層の受診率が低い傾向にあることから、介護予防の観点から若年層へのアプローチが課題です。
今後の方向性	各種健診について若年層への周知を行います。また、各種健診は生活習慣病やがんの早期発見や生活改善、介護予防等それぞれの目的を持って実施しているものの、後期高齢者健康診査を除くと、高齢者や介護対象者に限らず幅広い年代の方を対象とし、課題も共通傾向にあります。本計画の中に個別の健(検)診ごとに施策建てをすることはそぐわないと考えるため、「各種健(検)診と特定保健指導の実施」のように施策統合を検討しています。

次期計画(第9期)計画値・推計値を記(令和27年は、中長期計画最終年度)

指標名(単位)	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和27年

施策・事業の方向性→

		規模(量)		
		拡大	維持	縮小
費用	拡大	①	②	③
	維持	④	⑤	⑥
	縮小	⑦	⑧	⑨

施策の総合評価 (評価点「A:計画どおりに事業を進めることが適当、B:事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、C:事業規模・内容の見直しの検討、D:事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」)	C
--	---

担当課(担当部署名)	健康増進課
------------	-------

基本目標	高齢者が健康で生きがいを持って活躍する社会の実現
基本目標(中項目)	
施策項目	施策の方向2-1 健康づくりの推進
施策・事業名	⑧口腔疾患健診
施策の対象者	
現行計画(第8期)掲載の 施策概要または事業の概要	健康増進法第19条の2に基づき、歯周病の発症率が高くなる30歳以降の市民に対し口腔疾患健診を実施することにより、歯周病に限らず口腔内の疾患に対し予防意識を持たせ、高齢期の歯の喪失を防ぎます。また、健診後早期に受診勧奨をすることにより、口腔内疾患の進行を抑制します。
現行計画(第8期)掲載の 評価と取組状況	男性や若い世代の受診率が低いため、受診勧奨はがきや健診に関する案内ちらし等で引き続き周知を行いながら、受診を勧奨していく必要があります。

現行計画(第8期)の取組結果の振り返り(令和3~5年度)

指標名(単位)	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	実績値				
	乖離率				
	実績値				
	乖離率				
	実績値				
	乖離率				

目標(推計)と実績の差が 大きかった理由として 考えられること	
---------------------------------------	--

次期計画(第9期)の取組または方向性について

施策または事業の課題	各種健(検)診では、若年層の受診率が低い傾向にあることから、介護予防の観点から若年層へのアプローチが課題です。
今後の方向性	各種健診は、生活習慣病やがんの早期発見や生活改善、介護予防等それぞれの目的を持って実施しているものの、後期高齢者健康診査を除くと、高齢者や介護対象者に限らず幅広い年代の方を対象とし、課題も共通傾向にあります。本計画の中に個別の健(検)診ごとに施策建てをすることはそぐわないと考えるため、「各種健(検)診と特定保健指導の実施」のように施策統合を検討しています。

次期計画(第9期)計画値・推計値を記(令和27年は、中長期計画最終年度)

指標名(単位)	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和27年

施策・事業の方向性→

		規模(量)		
		拡大	維持	縮小
費用	拡大	①	②	③
	維持	④	⑤	⑥
	縮小	⑦	⑧	⑨

施策の総合評価 (評価点「A:計画どおりに事業を進めることが適当、B:事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、C:事業規模・内容の見直しの検討、D:事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」) 	C
--	---

担当課(担当部署名)	生涯学習課
------------	-------

基本目標	高齢者が健康で生きがいを持って活躍する社会の実現
------	--------------------------

基本目標(中項目)	
-----------	--

施策項目	施策の方向2-2 生きがいづくりと社会参加の推進
------	--------------------------

施策・事業名	①学習機会の提供
--------	----------

施策の対象者	
--------	--

現行計画(第8期)掲載の 施策概要または事業の概要	公民館・地域交流館及び図書館等の生涯学習施設では、子どもから高齢者まで、市民一人ひとりが自ら学び、生きがいや自己実現などにつながる生涯を通して学習できる環境づくりを推進し、市民のニーズや対象世代に合わせた多様な学習機会を提供しています。さらに、図書館では、図書館資料を通して利用者が高齢者福祉や障がい者福祉について学ぶ機会への支援、図書館資料の郵送、宅配、対面朗読の制度等のサービスを実施しています。
------------------------------	--

現行計画(第8期)掲載の 評価と取組状況	市民アカデミーや出前講座、公民館・地域交流館での主催事業など、だれもが学べる機会の提供に努め、多くの高齢者の参加を得ていますが、さらに高齢化社会に対応した学習メニューの検討や高齢者の学習ニーズに対応した事業展開、学習支援なども求められています。 図書館においても利用者の高齢化は進んでおり、大活字本等該当年齢層を見込んだ資料の充実や電子図書の導入等非来館型のサービスの検討が必要です。
-------------------------	---

現行計画(第8期)の取組結果の振り返り(令和3～5年度)

指標名(単位)	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値				
	実績値				
	乖離率				
	実績値				
	乖離率				
	実績値				
	実績値				
	乖離率				

目標(推計)と実績の差が 大きかった理由として 考えられること	
---------------------------------------	--

次期計画(第9期)の取組または方向性について

施策または事業の課題	生涯学習に対する市民のニーズが多様化する中、市民アカデミーや出前講座、公民館・地域交流館での主催事業など、多種多様な取り組みが求められております。 図書館においても高齢者の利用は増加傾向にあることから、継続した大活字本等該当年齢層を見込んだ資料の充実や電子図書の導入等非来館型のサービスの向上に努めていきます。
------------	--

今後の方向性	市民の多様なニーズに対応した学習機会の提供について、引き続き取り組んでいくとともに、高齢化社会に対応した事業の実施に努めます。また、図書を通じた高齢者福祉や障がい者福祉について学ぶ機会の支援、図書サービスのさらなる周知に努めます。
--------	---

次期計画(第9期)計画値・推計値を記(令和27年は、中長期計画最終年度)

指標名(単位)	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和27年
	目標値				

施策・事業の方向性→ <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td align="center" colspan="3">規模(量)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td align="center">拡大</td> <td align="center">維持</td> <td align="center">縮小</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">費用</td> <td align="center">拡大</td> <td align="center">①</td> <td align="center">②</td> <td align="center">③</td> </tr> <tr> <td align="center">維持</td> <td align="center">④</td> <td align="center">⑤</td> <td align="center">⑥</td> </tr> <tr> <td align="center">縮小</td> <td align="center">⑦</td> <td align="center">⑧</td> <td align="center">⑨</td> </tr> </table>				規模(量)					拡大	維持	縮小	費用	拡大	①	②	③	維持	④	⑤	⑥	縮小	⑦	⑧	⑨	
		規模(量)																							
		拡大	維持	縮小																					
費用	拡大	①	②	③																					
	維持	④	⑤	⑥																					
	縮小	⑦	⑧	⑨																					

施策の総合評価 (評価点「A:計画どおりに事業を進めることが適当、B:事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、C:事業規模・内容の見直しの検討、D:事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」)	A
--	----------

担当課(担当部署名)	スポーツ振興課
------------	---------

基本目標	高齢者が健康で生きがいを持って活躍する社会の実現
基本目標(中項目)	
施策項目	施策の方向2-2 生きがいづくりと社会参加の推進
施策・事業名	②生涯スポーツの充実
施策の対象者	
現行計画(第8期)掲載の 施策概要または事業の概要	高齢者の健康維持には、適度な運動(スポーツ)も必要なことから、楽しみながらできるニュースポーツ等の普及に努める。
現行計画(第8期)掲載の 評価と取組状況	令和2年度、3年度後期は、新型コロナウイルス感染症の感染状況により教室が中止となったが、令和4年度の教室を開催した際には、楽しみながらできるニュースポーツ等の普及を図ることができた。

現行計画(第8期)の取組結果の振り返り(令和3~5年度)

指標名(単位)	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業実施回数(回)	目標値	2	2	2	2
	実績値	0	1	2	
	乖離率	-100.0%	-100.0%	0.0%	
	実績値				
	乖離率				
	実績値				
	乖離率				

目標(推計)と実績の差が 大きかった理由として 考えられること	新型コロナウイルス感染症拡大の影響による事業中止。
---------------------------------------	---------------------------

次期計画(第9期)の取組または方向性について

施策または事業の課題	高齢者の健康維持を図るため、取り組みやすいニュースポーツの紹介と普及に努めるとともにニュースポーツ教室の開催について、引き続きPRを行う必要がある。
今後の方向性	地域団体やサークル等に対して要望に応じた指導者の派遣やニュースポーツ教室の開催の周知に努める。

次期計画(第9期)計画値・推計値を記(令和27年は、中長期計画最終年度)

指標名(単位)	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和27年
事業実施回数(回)	目標値	9	9	9	
	施策・事業の方向性→	⑤	⑤	⑤	

		規模(量)		
		拡大	維持	縮小
費用	拡大	①	②	③
	維持	④	⑤	⑥
	縮小	⑦	⑧	⑨

施策の総合評価 (評価点「A:計画どおりに事業を進めることが適当、B:事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、C:事業規模・内容の見直しの検討、D:事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」)	A
--	---

担当課(担当部署名)	高齢者福祉課
------------	--------

基本目標	高齢者が健康で生きがいを持って活躍する社会の実現
------	--------------------------

基本目標(中項目)	
-----------	--

施策項目	施策の方向2-2 生きがいづくりと社会参加の推進
------	--------------------------

施策・事業名	③就労機会の提供
--------	----------

施策の対象者	
--------	--

現行計画(第8期)掲載の 施策概要または事業の概要	高齢者の生きがいのある自立した生活を支援するため、就労に必要な技能の習得、就労相談等を行っています。 シルバー人材センターを支援して、高齢者の就労に向けた各種講習会を実施し、実際の就労にも繋げています。 高齢者が希望する就労機会の提供を効率的に行うことで、高齢者の生きがいの充実、社会参加が促進され、地域福祉の増進を図ることができます。
------------------------------	--

現行計画(第8期)掲載の 評価と取組状況	現状でシルバー人材センターに対する市民の認知度がまだ十分とは言えません。地域社会からの期待に応えるべく継続的に発展していくため、「登録会員拡大」と「就業先開拓」の2本柱を重点的に推進し、更なる事業の拡大を図ります。
-------------------------	---

現行計画(第8期)の取組結果の振り返り(令和3~5年度)

指標名(単位)	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
登録会員数(人)	見込み		450	455	460
	実績値	420	404	447	実施中
	乖離率		-11.4%	-1.8%	#VALUE!
	実績値				
	乖離率				
	実績値				
	乖離率				

目標(推計)と実績の差が 大きかった理由として 考えられること	
---------------------------------------	--

次期計画(第9期)の取組または方向性について

施策または事業の課題	シルバー人材センターの登録会員拡大及び就業先開拓に必要な支援を継続する。 印西市高齢者就労支援センターで各種講習会を実施し、就労を支援していく。
------------	---

今後の方向性	印西市高齢者就労支援センターの移転により、多様な講習会を実施することが可能となったことから、就労に直結する講習会だけでなく、生きがいづくりなどを通して、就労につながる講習会も実施していく。
--------	--

次期計画(第9期)計画値・推計値を記(令和27年は、中長期計画最終年度)

指標名(単位)	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和27年
登録会員数(人)	見込み	500	520	540	540
施策・事業の方向性→		⑤	⑤	⑤	

		規模(量)		
		拡大	維持	縮小
費用	拡大	①	②	③
	維持	④	⑤	⑥
	縮小	⑦	⑧	⑨

施策の総合評価 (評価点「A:計画どおりに事業を進めることが適当、B:事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、C:事業規模・内容の見直しの検討、D:事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」)	A
--	---

担当課(担当部署名)	高齢者福祉課
------------	--------

基本目標	高齢者が健康で生きがいを持って活躍する社会の実現
基本目標(中項目)	
施策項目	施策の方向2-2 生きがいづくりと社会参加の推進
施策・事業名	④高齢者クラブの支援
施策の対象者	
現行計画(第8期)掲載の 施策概要または事業の概要	高齢者の生きがいづくりと社会参加を目的に設立された団体に、補助金等の支援を行っています。 高齢者クラブは、自らの老後を健全で豊かなものにするために、地域を基盤とする高齢者の自主的な組織であり、地域との関わりを深めるとともに、高齢者の交流活動の場として大きな役割を担っています。
現行計画(第8期)掲載の 評価と取組状況	会員の高齢化や高齢者が活動する場の多様化などにより、会員数が減少傾向にあるため、新規加入者増加のための勧誘方法の工夫や、参加に魅力を感じられるような活動内容の充実を図る必要があります。 また、社会福祉協議会と連携し、高齢者クラブの周知と加入促進を目的として、高齢者クラブ会員以外も参加できる活動を検討する必要があります。

現行計画(第8期)の取組結果の振り返り(令和3~5年度)

指標名(単位)	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
会員数(人)	見込み		2000	2000	2000
	実績値	1933	1812	1625	1482
	乖離率		-10.4%	-23.1%	-35.0%
	実績値				
	乖離率				
	実績値				
	乖離率				

目標(推計)と実績の差が 大きかった理由として 考えられること	コロナ禍による活動機会の減少によるものと考えられる。
---------------------------------------	----------------------------

次期計画(第9期)の取組または方向性について

施策または事業の課題	活動する場の多様化により、会員数が減少傾向にある。
今後の方向性	新規の単位クラブ設立や加入促進のため、町内会回覧や広報誌などを積極的に活用し、引き続き支援していく。

次期計画(第9期)計画値・推計値を記(令和27年は、中長期計画最終年度)

指標名(単位)	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和27年
会員数(人)	見込み	1400	1400	1400	1400

施策・事業の方向性→

⑤

⑤

⑤

		規模(量)		
		拡大	維持	縮小
費用	拡大	①	②	③
	維持	④	⑤	⑥
	縮小	⑦	⑧	⑨

施策の総合評価
(評価点「A:計画どおりに事業を進めることが適当、B:事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、C:事業規模・内容の見直しの検討、D:事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」)

A

担当課(担当部署名)	高齢者福祉課
------------	--------

基本目標	高齢者が健康で生きがいを持って活躍する社会の実現
基本目標(中項目)	
施策項目	施策の方向2-2 生きがいづくりと社会参加の推進
施策・事業名	⑤交流活動の充実
施策の対象者	
現行計画(第8期)掲載の 施策概要または事業の概要	高齢者の健康増進、教養の向上やレクリエーションのための場の提供を行います。
現行計画(第8期)掲載の 評価と取組状況	高齢者の社会参加を促進するため、各老人福祉センター等で各種事業や世代間交流を行っています。

画(第8期)の取組結果の振り返り(令和3~5年度)

指標名(単位)	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	実績値				
	乖離率				
	実績値				
	乖離率				
	実績値				
	乖離率				

目標(推計)と実績の差が 大きかった理由として 考えられること	
---------------------------------------	--

次期計画(第9期)の取組または方向性について

施策または事業の課題	高齢者が社会の一員として生きがいを持てるよう、社会参加や同世代・世代間の交流ができる場の提供や、各種事業の充実に努めておりますが、事業によって参加者に差が生じてしまうため、より興味を感じてもらえる事業の企画が課題となっております。
------------	---

今後の方向性	老人福祉センター、老人憩いの家、草深ふれあい市民センター、牧の原地域交流センターや、市内の公民館、児童館等も含めた活動の場で、高齢者だけでなく、家族や子ども等、世代間の交流促進を図り、引き続き地域で共生できる社会を目指していきます。
--------	--

次期計画(第9期)計画値・推計値を記(令和27年は、中長期計画最終年度)

指標名(単位)	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和27年

施策・事業の方向性→

⑤

⑤

⑤

		規模(量)		
		拡大	維持	縮小
費用	拡大	①	②	③
	維持	④	⑤	⑥
	縮小	⑦	⑧	⑨

<p>施策の総合評価 (評価点「A:計画どおりに事業を進めることが適当、B:事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、C:事業規模・内容の見直しの検討、D:事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」)</p>	A
--	---

担当課(担当部署名)	高齢者福祉課
------------	--------

基本目標	高齢者が健康で生きがいを持って活躍する社会の実現
基本目標(中項目)	
施策項目	施策の方向2-3 高齢者と家族を支える福祉サービスの充実
施策・事業名	①緊急通報装置設置等サービス
施策の対象者	
現行計画(第8期)掲載の 施策概要または事業の概要	65歳以上のひとり暮らし高齢者又は高齢者のみの世帯等に対し、緊急事態に備えた緊急通報装置又は緊急通報専用携帯電話端末を貸与し、受信センターが24時間体制で相談や緊急事態発生等の通報を受信し対応するサービスを提供しています。
現行計画(第8期)掲載の 評価と取組状況	独居世帯・高齢者世帯等において、緊急時の救急搬送・日頃の安否確認等につながっていますが、通報受信後に利用者の状況確認をお願いしている協力員の確保が課題となっています。

現行計画(第8期)の取組結果の振り返り(令和3~5年度)

指標名(単位)	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
新規登録者数 (人)	見込み		35	35	35
	実績値	34	41	34	実施中
	乖離率		14.6%	-2.9%	#VALUE!
	実績値				
	乖離率				
	実績値				
	乖離率				

目標(推計)と実績の差が 大きかった理由として 考えられること	
---------------------------------------	--

次期計画(第9期)の取組または方向性について

施策または事業の課題	協力員については、親族、民生委員、ケアマネージャー、友人等に協力を得て対応しているが、協力員が転居等により協力できなくなった場合の代替りの協力員の確保が課題と考えている。
今後の方向性	緊急通報装置設置等サービスは、24時間体制で対応しており、本人、家族等の不安解消にもつながるため、引き続き継続していく。

次期計画(第9期)計画値・推計値を記(令和27年は、中長期計画最終年度)

指標名(単位)	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和27年
新規登録者数(人)	見込み	40	40	40	40
施策・事業の方向性→		⑤	⑤	⑤	

		規模(量)		
		拡大	維持	縮小
費用	拡大	①	②	③
	維持	④	⑤	⑥
	縮小	⑦	⑧	⑨

施策の総合評価 (評価点「A:計画どおりに事業を進めることが適当、B:事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、C:事業規模・内容の見直しの検討、D:事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」)	A
--	---

担当課(担当部署名)	高齢者福祉課
------------	--------

基本目標	高齢者が健康で生きがいを持って活躍する社会の実現
基本目標(中項目)	
施策項目	施策の方向2-3 高齢者と家族を支える福祉サービスの充実
施策・事業名	②紙おむつ給付サービス
施策の対象者	
現行計画(第8期)掲載の 施策概要または事業の概要	要介護認定で「要介護2」、「要介護3」、「要介護4」、「要介護5」のいずれかに認定され、常におむつを使用する必要のある在宅生活の要介護高齢者を対象に、紙おむつを給付するサービスを実施しています。
現行計画(第8期)掲載の 評価と取組状況	令和元(2019)年6月より商品の種類等を増やし、より利用しやすくなっています。在宅福祉サービスの充実のため、今後も利用者ニーズに合わせたサービス内容を検討し、実施する必要があります。

現行計画(第8期)の取組結果の振り返り(令和3~5年度)

指標名(単位)	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
登録者数(人)	見込み		600	600	600
	実績値	652	770	853	実施中
	乖離率		22.1%	29.7%	#VALUE!
	実績値				
	乖離率				
	実績値				
	乖離率				

目標(推計)と実績の差が 大きかった理由として 考えられること	コロナ禍の影響により体力の低下が考えられる。
---------------------------------------	------------------------

次期計画(第9期)の取組または方向性について

施策または事業の課題	要介護者の負担軽減及び福祉の増進を図っていく。
今後の方向性	利用者のニーズに合った種類等の検討を行いながら事業の推進を図る。

次期計画(第9期)計画値・推計値を記(令和27年は、中長期計画最終年度)

指標名(単位)	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和27年
登録者数(人)	見込み	1080	1180	1290	1300
施策・事業の方向性→		②	②	②	

		規模(量)		
		拡大	維持	縮小
費用	拡大	①	②	③
	維持	④	⑤	⑥
	縮小	⑦	⑧	⑨

施策の総合評価 (評価点「A:計画どおりに事業を進めることが適当、B:事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、C:事業規模・内容の見直しの検討、D:事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」)	A
--	---

担当課(担当部署名)	障がい福祉課
------------	--------

基本目標	高齢者が健康で生きがいを持って活躍する社会の実現
基本目標(中項目)	
施策項目	施策の方向2-3 高齢者と家族を支える福祉サービスの充実
施策・事業名	③配食サービス
施策の対象者	65歳未満の障がい者(障がい福祉課)
現行計画(第8期)掲載の 施策概要または事業の概要	身体的、環境的な理由から調理が困難なため、在宅での生活に支障のある概ね65歳以上の高齢者や障がいのある人を対象とし、安否確認を兼ねて夕食を自宅に届けるサービスを実施しています。
現行計画(第8期)掲載の 評価と取組状況	身体的、環境的な理由から調理が困難で、在宅での生活に支障のある高齢者や障がいのある人が栄養バランスの良い食事をとることができるようサービスを実施しています。また、訪問により日頃の安否確認にもつながっています。在宅福祉サービスの充実のため、今後も利用者ニーズに合わせたサービス内容を検討し、実施する必要があります。

現行計画(第8期)の取組結果の振り返り(令和3~5年度)

指標名(単位)	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
新規登録者数 (人)	見込み				
	実績値	4	1	2	
	乖離率				
	実績値				
	乖離率				
	実績値				
	乖離率				

目標(推計)と実績の差が 大きかった理由として 考えられること	
---------------------------------------	--

次期計画(第9期)の取組または方向性について

施策または事業の課題	心身の障がいや環境的理由から調理が困難な障がいのある方に対し、栄養バランスの良い食事をとることができるよう、制度の周知に努める必要がある。
今後の方向性	利用者の利便性を図り、サービスの向上に務める。

次期計画(第9期)計画値・推計値を記(令和27年は、中長期計画最終年度)

指標名(単位)	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和27年
新規登録者数(人)	見込み				

施策・事業の方向性→

		規模(量)		
		拡大	維持	縮小
費用	拡大	①	②	③
	維持	④	⑤	⑥
	縮小	⑦	⑧	⑨

施策の総合評価 (評価点「A:計画どおりに事業を進めることが適当、B:事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、C:事業規模・内容の見直しの検討、D:事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」)	A
--	---

担当課(担当部署名)	高齢者福祉課、障がい福祉課
------------	---------------

基本目標	高齢者が健康で生きがいを持って活躍する社会の実現
基本目標(中項目)	
施策項目	施策の方向2-3 高齢者と家族を支える福祉サービスの充実
施策・事業名	③配食サービス
施策の対象者	
現行計画(第8期)掲載の 施策概要または事業の概要	身体的、環境的な理由から調理が困難なため、在宅での生活に支障のある概ね65歳以上の高齢者や障がいのある人を対象とし、安否確認を兼ねて夕食を自宅に届けるサービスを実施しています。
現行計画(第8期)掲載の 評価と取組状況	身体的、環境的な理由から調理が困難で、在宅での生活に支障のある高齢者や障がいのある人が栄養バランスの良い食事をとることができるようサービスを実施しています。また、訪問により日頃の安否確認にもつながっています。在宅福祉サービスの充実のため、今後も利用者ニーズに合わせたサービス内容を検討し、実施する必要があります。

現行計画(第8期)の取組結果の振り返り(令和3~5年度)

指標名(単位)	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
新規登録者数 (人)	見込み		55	55	55
	実績値	51	53	42	実施中
	乖離率		-3.8%	-31.0%	#VALUE!
	実績値				
	乖離率				
	実績値				
	乖離率				

目標(推計)と実績の差が 大きかった理由として 考えられること	
---------------------------------------	--

次期計画(第9期)の取組または方向性について

施策または事業の課題	身体的、環境的な理由から調理が困難で、在宅での生活に支障のある高齢者や障がいのある人が栄養バランスの良い食事をとることができるようサービスを実施していく。また、配達は原則手渡しで安否確認をしていく。
今後の方向性	引き続き利用者のニーズに合わせたサービスを検討し、継続していきます。

次期計画(第9期)計画値・推計値を記(令和27年は、中長期計画最終年度)

指標名(単位)	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和27年
新規登録者数(人)	見込み	50	50	50	50
施策・事業の方向性→		⑤	⑤	⑤	

		規模(量)		
		拡大	維持	縮小
費用	拡大	①	②	③
	維持	④	⑤	⑥
	縮小	⑦	⑧	⑨

施策の総合評価 (評価点「A:計画どおりに事業を進めることが適当、B:事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、C:事業規模・内容の見直しの検討、D:事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」)	A
--	---

担当課(担当部署名)	障がい福祉課
------------	--------

基本目標	高齢者が健康で生きがいを持って活躍する社会の実現
基本目標(中項目)	
施策項目	施策の方向2-3 高齢者と家族を支える福祉サービスの充実
施策・事業名	④福祉カー貸付
施策の対象者	65歳未満の障がい者(障がい福祉課)
現行計画(第8期)掲載の 施策概要または事業の概要	高齢者又は障がいのある人やその家族に、車いす・ストレッチャー対応のリフト付きワゴン車を貸出するサービスを提供しています。
現行計画(第8期)掲載の 評価と取組状況	車いす・ストレッチャーを使用する方の外出のために利用されています。 在宅福祉サービスの充実のため、今後も利用者ニーズに合わせたサービス内容を検討し、実施する必要があります。

現行計画(第8期)の取組結果の振り返り(令和3~5年度)

指標名(単位)	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用回数(回)	見込み				
	実績値	29	7	1	
	乖離率				
	実績値				
	乖離率				
	実績値				
	乖離率				

目標(推計)と実績の差が 大きかった理由として 考えられること	
---------------------------------------	--

次期計画(第9期)の取組または方向性について

施策または事業の課題	福祉カーの老朽化で故障のリスクがあり、車が大きいと、利用者の固定化やサービスの低下となっている。
今後の方向性	利用者のニーズに合わせたサービスを検討し、実施した上で、今後の事業規模を含めた見直しを図っていく。

次期計画(第9期)計画値・推計値を記(令和27年は、中長期計画最終年度)

指標名(単位)	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和27年
利用回数(回)	見込み				

施策・事業の方向性→

		規模(量)		
		拡大	維持	縮小
費用	拡大	①	②	③
	維持	④	⑤	⑥
	縮小	⑦	⑧	⑨

施策の総合評価 (評価点「A:計画どおりに事業を進めることが適当、B:事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、C:事業規模・内容の見直しの検討、D:事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」)	A
--	---

担当課(担当部署名)	高齢者福祉課、障がい福祉課
------------	---------------

基本目標	高齢者が健康で生きがいを持って活躍する社会の実現
基本目標(中項目)	
施策項目	施策の方向2-3 高齢者と家族を支える福祉サービスの充実
施策・事業名	④福祉カー貸付
施策の対象者	
現行計画(第8期)掲載の 施策概要または事業の概要	高齢者又は障がいのある人やその家族に、車いす・ストレッチャー対応のリフト付きワゴン車を貸出するサービスを提供しています。
現行計画(第8期)掲載の 評価と取組状況	車いす・ストレッチャーを使用する方の外出のために利用されています。 在宅福祉サービスの充実のため、今後も利用者ニーズに合わせたサービス内容を検討し、実施する必要があります。

現行計画(第8期)の取組結果の振り返り(令和3~5年度)

指標名(単位)	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用回数(回)	見込み		60	60	60
	実績値	74	32	5	
	乖離率		-87.5%	-1100.0%	
	実績値				
	乖離率				
	実績値				
	乖離率				

目標(推計)と実績の差が 大きかった理由として 考えられること	利用者の固定化が考えられる。
---------------------------------------	----------------

次期計画(第9期)の取組または方向性について

施策または事業の課題	福祉カーは、大きな車体と老朽化による故障のリスクにより利用者の固定化等サービスの低下となっている。
今後の方向性	利用者のニーズに合わせたサービスを検討し、今後の事業規模を含めた見直しを図っていく。

次期計画(第9期)計画値・推計値を記(令和27年は、中長期計画最終年度)

指標名(単位)	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和27年
利用回数(回)	見込み	40	40	40	40
施策・事業の方向性→		⑤	⑤	⑤	

		規模(量)		
		拡大	維持	縮小
費用	拡大	①	②	③
	維持	④	⑤	⑥
	縮小	⑦	⑧	⑨

施策の総合評価 (評価点「A:計画どおりに事業を進めることが適当、B:事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、C:事業規模・内容の見直しの検討、D:事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」)	C
--	---

担当課(担当部署名)	障がい福祉課
------------	--------

基本目標	高齢者が健康で生きがいを持って活躍する社会の実現
基本目標(中項目)	
施策項目	施策の方向2-3 高齢者と家族を支える福祉サービスの充実
施策・事業名	⑤外出支援サービス
施策の対象者	65歳未満の障がい者(障がい福祉課)
現行計画(第8期)掲載の 施策概要または事業の概要	医療機関への通院、公共施設の利用等のために、介助なしで公共交通機関(電車・バス・タクシー)を利用することが困難な65歳以上の要支援・要介護認定者や障がいのある人に対し、送迎サービスを提供しています。
現行計画(第8期)掲載の 評価と取組状況	介助なしで公共交通機関を利用することが困難な方の通院等に利用されています。在宅福祉サービスの充実のため、今後も利用者ニーズに合わせたサービス内容を検討し、実施する必要があります。

現行計画(第8期)の取組結果の振り返り(令和3~5年度)

指標名(単位)	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用件数(件)	見込み				
	実績値	101	66	93	
	乖離率				
	実績値				
	乖離率				
	実績値				
	乖離率				

目標(推計)と実績の差が 大きかった理由として 考えられること	
---------------------------------------	--

次期計画(第9期)の取組または方向性について

施策または事業の課題	福祉タクシーの利用者は増加傾向であるが、外出支援サービスについては、一定数の利用状況となっている。
今後の方向性	利用者の利便性を図りながらサービス向上に務め、継続して周知していく。

次期計画(第9期)計画値・推計値を記(令和27年は、中長期計画最終年度)

指標名(単位)	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和27年
利用件数(件)	見込み				

施策・事業の方向性→

		規模(量)		
		拡大	維持	縮小
費用	拡大	①	②	③
	維持	④	⑤	⑥
	縮小	⑦	⑧	⑨

施策の総合評価 (評価点「A:計画どおりに事業を進めることが適当、B:事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、C:事業規模・内容の見直しの検討、D:事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」)	A
--	---

担当課(担当部署名)	高齢者福祉課、障がい福祉課
------------	---------------

基本目標	高齢者が健康で生きがいを持って活躍する社会の実現
基本目標(中項目)	
施策項目	施策の方向2-3 高齢者と家族を支える福祉サービスの充実
施策・事業名	⑤外出支援サービス
施策の対象者	
現行計画(第8期)掲載の 施策概要または事業の概要	医療機関への通院、公共施設の利用等のために、介助なしで公共交通機関(電車・バス・タクシー)を利用することが困難な65歳以上の要支援・要介護認定者や障がいのある人に対し、送迎サービスを提供しています。
現行計画(第8期)掲載の 評価と取組状況	介助なしで公共交通機関を利用することが困難な方の通院等に利用されています。在宅福祉サービスの充実のため、今後も利用者ニーズに合わせたサービス内容を検討し、実施する必要があります。

現行計画(第8期)の取組結果の振り返り(令和3~5年度)

指標名(単位)	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用件数(件)	見込み		400	400	400
	実績値	353	408	577	実施中
	乖離率		2.0%	30.7%	#VALUE!
	実績値				
	乖離率				
	実績値				
	乖離率				

目標(推計)と実績の差が 大きかった理由として 考えられること	コロナ禍の規制の緩和によるものと考えられる。
---------------------------------------	------------------------

次期計画(第9期)の取組または方向性について

施策または事業の課題	利用者数の増加により、利用者の希望日に対応できない場合があるため、運転ボランティアが不足している状況と考えている。
今後の方向性	利用者の利便性を図るため、運転ボランティアの増員を推進し内容等を検討し、継続していく。

次期計画(第9期)計画値・推計値を記(令和27年は、中長期計画最終年度)

指標名(単位)	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和27年
利用件数(件)	見込み	600	600	600	600
施策・事業の方向性→		⑤	⑤	⑤	

		規模(量)		
		拡大	維持	縮小
費用	拡大	①	②	③
	維持	④	⑤	⑥
	縮小	⑦	⑧	⑨

施策の総合評価 (評価点「A:計画どおりに事業を進めることが適当、B:事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、C:事業規模・内容の見直しの検討、D:事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」)	A
--	----------

担当課(担当部署名)	障がい福祉課
------------	--------

基本目標	高齢者が健康で生きがいを持って活躍する社会の実現
基本目標(中項目)	
施策項目	施策の方向2-3 高齢者と家族を支える福祉サービスの充実
施策・事業名	⑥福祉タクシー
施策の対象者	65歳未満の障がい者(障がい福祉課)
現行計画(第8期)掲載の 施策概要または事業の概要	要介護1以上の要介護認定者や障がいのある人を対象に、福祉タクシー利用券を交付し、乗車料金の一部を助成しています。
現行計画(第8期)掲載の 評価と取組状況	平成30(2018)年度より、対象者を要介護認定で要介護1以上に認定された人まで拡大しました。 在宅福祉サービスの充実のため、今後も利用者ニーズに合わせたサービス内容を検討し、実施する必要があります。

現行計画(第8期)の取組結果の振り返り(令和3~5年度)

指標名(単位)	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用回数(回)	見込み				
	実績値	2287	2905	3599	
	乖離率				
	実績値				
	乖離率				
	実績値				
	乖離率				

目標(推計)と実績の差が 大きかった理由として 考えられること	
---------------------------------------	--

次期計画(第9期)の取組または方向性について

施策または事業の課題	心身に重度の障がいをお持ちの方の外出のための移動手段として、ニーズを踏まえながら利用を促進していく。
今後の方向性	利用者の利便性を図り、サービスの向上に務める。

次期計画(第9期)計画値・推計値を記(令和27年は、中長期計画最終年度)

指標名(単位)	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和27年
利用回数(回)	見込み				

施策・事業の方向性→

		規模(量)		
		拡大	維持	縮小
費用	拡大	①	②	③
	維持	④	⑤	⑥
	縮小	⑦	⑧	⑨

施策の総合評価 (評価点「A:計画どおりに事業を進めることが適当、B:事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、 C:事業規模・内容の見直しの検討、D:事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」)	A
--	---

担当課(担当部署名)	高齢者福祉課、障がい福祉課
------------	---------------

基本目標	高齢者が健康で生きがいを持って活躍する社会の実現
基本目標(中項目)	
施策項目	施策の方向2-3 高齢者と家族を支える福祉サービスの充実
施策・事業名	⑥福祉タクシー
施策の対象者	
現行計画(第8期)掲載の 施策概要または事業の概要	要介護1以上の要介護認定者や障がいのある人を対象に、福祉タクシー利用券を交付し、乗車料金の一部を助成しています。
現行計画(第8期)掲載の 評価と取組状況	平成30(2018)年度より、対象者を要介護認定で要介護1以上に認定された人まで拡大しました。 在宅福祉サービスの充実のため、今後も利用者ニーズに合わせたサービス内容を検討し、実施する必要があります。

現行計画(第8期)の取組結果の振り返り(令和3~5年度)

指標名(単位)	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用回数(回)	見込み		6000	6000	6000
	実績値	4487	5741	7017	実施中
	乖離率		-4.5%	14.5%	#VALUE!
	実績値				
	乖離率				
	実績値				
	乖離率				

目標(推計)と実績の差が 大きかった理由として 考えられること	コロナ禍による減少と規制緩和に伴う増加によるものと考えられる。
---------------------------------------	---------------------------------

次期計画(第9期)の取組または方向性について

施策または事業の課題	タクシーを利用する場合に料金の一部を助成することにより、タクシーの利用を容易にし社会生活の範囲を広め、福祉の増進を図っていく。
今後の方向性	利用者ニーズに合わせたサービス内容を検討し、継続していく。

次期計画(第9期)計画値・推計値を記(令和27年は、中長期計画最終年度)

指標名(単位)	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和27年
利用回数(回)	見込み	8400	9200	10100	10100
施策・事業の方向性→		②	②	②	

		規模(量)		
		拡大	維持	縮小
費用	拡大	①	②	③
	維持	④	⑤	⑥
	縮小	⑦	⑧	⑨

施策の総合評価 (評価点「A:計画どおりに事業を進めることが適当、B:事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、C:事業規模・内容の見直しの検討、D:事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」)	A
--	---

担当課(担当部署名)	社会福祉課・高齢者福祉課・障がい福祉課・健康増進課・子育て支援課・市民活動推進課・防災課
------------	--

基本目標	高齢者が健康で生きがいを持って活躍する社会の実現
------	--------------------------

基本目標(中項目)	
-----------	--

施策項目	施策の方向2-4 安心・安全なまちづくり
------	----------------------

施策・事業名	①避難行動要支援者避難支援
--------	---------------

施策の対象者	避難行動要支援者の要件に該当する方
--------	-------------------

現行計画(第8期)掲載の 施策概要または事業の概要	「印西市避難行動要支援者避難支援計画」に基づいて避難行動要支援者名簿を作成し、平常時における見守りや災害時における安否確認・避難支援に活用するため、避難支援等関係者に名簿情報を提供します。また、避難支援等関係者による個別計画の作成などにより、災害発生時における避難行動要支援者の避難支援体制の構築を図ります。
------------------------------	--

現行計画(第8期)掲載の 評価と取組状況	令和2(2020)年4月に策定した「印西市避難行動要支援者避難支援計画」に基づき、「避難行動要支援者対象者名簿」及び「避難行動要支援者同意者名簿」を作成し、名簿受領兼誓約書を提出した団体等に同意者名簿を提出していますが、今後、誓約書提出団体の拡充や個別計画作成への支援といった避難行動要支援者への支援体制の確立に向けた取り組みを継続的に行う必要があります。また、避難支援等関係者がいない地域への対応についても課題があります。
-------------------------	--

現行計画(第8期)の取組結果の振り返り(令和3~5年度)

指標名(単位)	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	実績値				
	乖離率				
	実績値				
	乖離率				
	実績値				
	乖離率				

目標(推計)と実績の差が 大きかった理由として 考えられること	
---------------------------------------	--

次期計画(第9期)の取組または方向性について

施策または事業の課題	町内会等や民生委員における避難行動要支援者名簿の受領団体数や、避難行動要支援者の個別計画作成者数が伸び悩んでいることから、制度のさらなる周知が必要である。
------------	---

今後の方向性	印西市避難行動要支援者避難支援計画に基づき、作成した避難行動要支援者名簿を市の関係部署、地域支援組織に提供し、避難行動要支援者の避難支援等の体制の強化を図ります。
--------	---

次期計画(第9期)計画値・推計値を記(令和27年は、中長期計画最終年度)

指標名(単位)	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和27年
同意者名簿提出者数	目標値				
個別支援計画作成者数	目標値				

施策・事業の方向性→

		規模(量)		
		拡大	維持	縮小
費用	拡大	①	②	③
	維持	④	⑤	⑥
	縮小	⑦	⑧	⑨

施策の総合評価 (評価点「A:計画どおりに事業を進めることが適当、B:事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、C:事業規模・内容の見直しの検討、D:事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」)	A
--	----------

担当課(担当部署名)	高齢者福祉課、障がい福祉課
------------	---------------

基本目標	高齢者が健康で生きがいを持って活躍する社会の実現
基本目標(中項目)	
施策項目	施策の方向2-4 安心・安全なまちづくり
施策・事業名	②救急医療情報キット配布事業
施策の対象者	65歳未満の障がい者(障がい福祉課)
現行計画(第8期)掲載の 施策概要または事業の概要	ひとり暮らし高齢者や障がいのある人等に、かかりつけ医療機関等救急時に必要な情報を保管する、救急医療情報キットを配布し、迅速な救急活動に役立っています。
現行計画(第8期)掲載の 評価と取組状況	緊急時に救急医療情報キットを活用できるよう、普及していく必要があります。

現行計画(第8期)の取組結果の振り返り(令和3~5年度)

指標名(単位)	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
新規配布者数 (人)	見込み	102	100	100	100
	実績値	30	21	34	
	乖離率	-240.0%	-376.2%	-194.1%	
	実績値				
	乖離率				
	実績値				
	乖離率				

目標(推計)と実績の差が 大きかった理由として 考えられること	
---------------------------------------	--

次期計画(第9期)の取組または方向性について

施策または事業の課題	民生委員等の協力していただき、広報誌等でも周知を図っていく。
今後の方向性	継続して周知し、配布を行っていく。

次期計画(第9期)計画値・推計値を記(令和27年は、中長期計画最終年度)

指標名(単位)	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和27年
新規配布者数(人)	見込み				

施策・事業の方向性→

⑤

⑤

⑤

		規模(量)		
		拡大	維持	縮小
費用	拡大	①	②	③
	維持	④	⑤	⑥
	縮小	⑦	⑧	⑨

施策の総合評価 (評価点「A:計画どおりに事業を進めることが適当、B:事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、 C:事業規模・内容の見直しの検討、D:事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」)	A
--	---

担当課(担当部署名)	高齢者福祉課、障がい福祉課
------------	---------------

基本目標	高齢者が健康で生きがいを持って活躍する社会の実現
基本目標(中項目)	
施策項目	施策の方向2-4 安心・安全なまちづくり
施策・事業名	②救急医療情報キット配布事業
施策の対象者	
現行計画(第8期)掲載の 施策概要または事業の概要	ひとり暮らし高齢者や障がいのある人等に、かかりつけ医療機関等救急時に必要な情報を保管する、救急医療情報キットを配布し、迅速な救急活動に役立っています。
現行計画(第8期)掲載の 評価と取組状況	緊急時に救急医療情報キットを活用できるよう、普及していく必要があります。

現行計画(第8期)の取組結果の振り返り(令和3~5年度)

指標名(単位)	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
新規配布者数 (人)	見込み		100	100	100
	実績値	134	337	267	実施中
	乖離率		70.3%	62.5%	#VALUE!
	実績値				
	乖離率				
	実績値				
	乖離率				

目標(推計)と実績の差が 大きかった理由として 考えられること	関係機関の協力や広報活動によるものと考えられる。
---------------------------------------	--------------------------

次期計画(第9期)の取組または方向性について

施策または事業の課題	利用者の日常生活に必要なものではないが、緊急時の対策となる意識を持っていただくことが課題と考えている。
今後の方向性	引き続き、民生委員や包括支援センター、ケアマネージャー等と連携を図り、周知していく。

次期計画(第9期)計画値・推計値を記(令和27年は、中長期計画最終年度)

指標名(単位)	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和27年
新規配布者数(人)	見込み	200	200	200	200
施策・事業の方向性→		⑤	⑤	⑤	

		規模(量)		
		拡大	維持	縮小
費用	拡大	①	②	③
	維持	④	⑤	⑥
	縮小	⑦	⑧	⑨

施策の総合評価 (評価点「A:計画どおりに事業を進めることが適当、B:事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、 C:事業規模・内容の見直しの検討、D:事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」)	A
--	---

担当課(担当部署名)	高齢者福祉課、障がい福祉課
------------	---------------

基本目標	高齢者が健康で生きがいを持って活躍する社会の実現
基本目標(中項目)	
施策項目	施策の方向2-4 安心・安全なまちづくり
施策・事業名	③緊急情報等の提供に関する高齢者等地域見守り支援
施策の対象者	
現行計画(第8期)掲載の 施策概要または事業の概要	ひとり暮らし高齢者等の緊急を要する異変等を迅速に発見し、孤立死の防止等につなげていくため、民生委員、社会福祉協議会、地域包括支援センター、高齢者クラブ、町内会等、新聞販売店ほかの事業者等と幅広く連携して、迅速な対応が取れる環境づくりを行っています。
現行計画(第8期)掲載の 評価と取組状況	覚書を交わしている事業所や地域包括支援センター、民生委員等からの情報提供により、緊急を要する異変等の発見につながっています。今後は、覚書を交わしている事業者以外の支援者も広く募り、地域住民とも協力体制を築いていくことが課題です。

現行計画(第8期)の取組結果の振り返り(令和3~5年度)

指標名(単位)	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	実績値				
	乖離率				
	実績値				
	乖離率				
	実績値				
	乖離率				

目標(推計)と実績の差が 大きかった理由として 考えられること	
---------------------------------------	--

次期計画(第9期)の取組または方向性について

施策または事業の課題	コロナ禍のため会議等が開催されず、周知できる機会がなかったことにより、新規協力事業者と覚書を締結することが少なかった。
今後の方向性	引き続き、広報誌やホームページで周知を図り、協力事業所と協力体制を築いていく。

次期計画(第9期)計画値・推計値を記(令和27年は、中長期計画最終年度)

指標名(単位)	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和27年

施策・事業の方向性→

		規模(量)		
		拡大	維持	縮小
費用	拡大	①	②	③
	維持	④	⑤	⑥
	縮小	⑦	⑧	⑨

施策の総合評価 (評価点「A:計画どおりに事業を進めることが適当、B:事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、C:事業規模・内容の見直しの検討、D:事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」)	A
--	---

担当課(担当部署名)	社会福祉課
------------	-------

基本目標	高齢者が健康で生きがいを持って活躍する社会の実現
------	--------------------------

基本目標(中項目)	
-----------	--

施策項目	施策の方向2-4 安心・安全なまちづくり
------	----------------------

施策・事業名	④民生委員による見守り活動
--------	---------------

施策の対象者	印西市民生委員児童委員
--------	-------------

現行計画(第8期)掲載の 施策概要または事業の概要	民生委員は日ごろから、訪問や声かけなど地域の見守り活動を行い、地域と行政の橋渡しの役割を担っています。また年1回、ひとり暮らし高齢者・高齢者のみの世帯の世帯実態調査を行っています。
------------------------------	--

現行計画(第8期)掲載の 評価と取組状況	課題として、民生委員一人あたりの見守り世帯数が増加傾向にあり、負担が増加しているため、訪問調査対象年齢の引き上げや定数の見直しが必要となってきています。訪問調査対象年齢については、平成30(2018)年度に65歳以上の独居、高齢者世帯から70歳以上の独居、75歳以上の高齢者世帯に変更しています。また、地区住民の高齢化、働き世代の増加等により後任民生委員が不足しており、民生委員の欠員地区も増加傾向にあります。
-------------------------	---

現行計画(第8期)の取組結果の振り返り(令和3~5年度)

指標名(単位)	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	実績値				
	乖離率				
	実績値				
	乖離率				
	実績値				
	乖離率				

目標(推計)と実績の差が 大きかった理由として 考えられること	
---------------------------------------	--

次期計画(第9期)の取組または方向性について

施策または事業の課題	欠員地区の民生委員児童委員の確保については、自治会や単位民児協から候補者の推薦をいただき、候補者に対し民生委員活動についての説明を行っているが、町内会等がない地区も増加しているため、候補者の選出が困難になっている。見守り世帯数の増加問題もあり、民生委員児童委員の負担軽減策を検討する必要がある。
------------	---

今後の方向性	欠員地区の民生委員児童委員の確保に努め、活動しやすい環境づくり等について検討していく。
--------	---

次期計画(第9期)計画値・推計値を記(令和27年は、中長期計画最終年度)

指標名(単位)	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和27年

施策・事業の方向性→

		規模(量)		
		拡大	維持	縮小
費用	拡大	①	②	③
	維持	④	⑤	⑥
	縮小	⑦	⑧	⑨

施策の総合評価 (評価点「A:計画どおりに事業を進めることが適当、B:事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、C:事業規模・内容の見直しの検討、D:事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」)	B
--	----------

担当課(担当部署名)	高齢者福祉課
------------	--------

基本目標	高齢者が健康で生きがいを持って活躍する社会の実現
基本目標(中項目)	
施策項目	施策の方向2-4 安心・安全なまちづくり
施策・事業名	⑤SOSネットワーク
施策の対象者	
現行計画(第8期)掲載の 施策概要または事業の概要	行方不明者が出た際、FAXにより関係機関や協力事業所へ情報を流し、早期発見・保護へと繋げています。
現行計画(第8期)掲載の 評価と取組状況	現在約139 か所ある協力事業所を増やし、より広範な情報提供をしていくことが課題です。

現行計画(第8期)の取組結果の振り返り(令和3~5年度)

指標名(単位)	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	見込み				
	実績値				
	乖離率				
	実績値				
	乖離率				
	実績値				
	乖離率				

目標(推計)と実績の差が 大きかった理由として 考えられること	
---------------------------------------	--

次期計画(第9期)の取組または方向性について

施策または事業の課題	現在FAXにより情報を通知しているが協力事業者と通知方法の検討を要する。
今後の方向性	情報の通知方法を協力事業者と検討を行い事業を継続する。

次期計画(第9期)計画値・推計値を記(令和27年は、中長期計画最終年度)

指標名(単位)	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和27年
	見込み				
施策・事業の方向性→		⑤	⑤	⑤	

		規模(量)		
		拡大	維持	縮小
費用	拡大	①	②	③
	維持	④	⑤	⑥
	縮小	⑦	⑧	⑨

施策の総合評価 (評価点「A:計画どおりに事業を進めることが適当、B:事業の進め方の改善又は実施主体の見直しの検討、 C:事業規模・内容の見直しの検討、D:事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討」)	A
--	---